

医学部へようこそ

(Welcome to Hyogo Medical University)

【責任者/担当者】

〔兵庫医科大学〕辻村 亨 医学部長、鈴木 敬一郎 副学長（内部質保証・多職種連携教育・ダイバーシティー担当）
〔医学教育センター〕蓮池 由起子 医学教育センター長、今西 宏安准教授、
庄司 拓仁 講師
〔医学教育学〕柏 薫里 講師

【担当者】

〔兵庫医科大学〕野口 光一 学長
〔兵庫医科大学病院〕阪上 雅史 病院長
〔兵庫医科大学〕島 正之 図書館長
〔免疫学〕黒田 悦史 主任教授
〔呼吸器外科学〕長谷川 誠紀 主任教授
〔消化器外科学〕池内 浩基 主任教授、篠原 尚 主任教授、
廣野 誠子 主任教授
〔脳神経外科学〕吉村 紳一 主任教授
〔精神科神経科学〕松永 寿人 主任教授
〔心臓血管外科学〕坂口 太一 主任教授
〔救急・災害医学〕平田 淳一 主任教授
〔免疫医学研究所 神経再生研究部門〕中込 隆之 研究所教授
〔医学教育センター〕松本 順司 非常勤講師
〔ささやま医療センター〕片山 覚 病院長
〔緑 樹 会〕石蔵 礼一 会長（特別招聘教授）
〔その他〕教養部門各教員、アドバイザー各教員

【目的】

「医学部へようこそ」は医学部に入学したばかりの学生の皆さんへのエールである。まず、基礎および臨床を問わず医学研究分野で優れた業績をあげられたり、医療の最前線で活躍されたりしている先生に体験談を話していただく。将来の自分の姿を諸先生に重ね、単に医師になるということだけでなく、医学に対する興味をさらに深めて大きな目標を胸に抱いて欲しい。そのことで、これからの大学生活がより有意義になることを信じている。兵庫医大の歴史、創設者の森村茂樹先生の足跡、同窓会を知り、兵庫医大への愛着を深めて欲しい。また図書館の利用方法、情報検索なども紹介する。

【科目キーワード】

「リサーチマインド(research mind)」「先端医療(advanced medicine)」「勉学への動機づけ(motivation to study)」「愛校心(school spirit)」「図書館(Library)」

【到達目標(アウトカム)】

☐ 優れた研究者や臨床の最前線の医師の活躍を理解する。

- ☐ 医学を学ぶことへの動機づけを行う。
- ☐ 医学部で学ぶ医学や医療が地域社会でどのように役立っているのかを理解する。
- ☐ 兵庫医大の歴史を概説できる。
- ☐ 新入生オリエンテーションに参加し、学生間の親睦を深める。
- ☐ 医学教育の概略を知り、医療者教育の特殊性を理解する。
- ☐ 医師としての目標や将来のビジョンを考える。
- ☐ 深く思索し、内省できる。
- ☐ アドバイザーと親交することを通じて諸問題を解決する。
- ☐ 図書館の利用方法と情報検索の基本を理解する。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・安心・安全な医療に強い使命感と自律性を有し、優れた協調精神を持ってチーム医療の一員として社会の福祉に奉仕できる良医となるべき素養を有している。
- ・医療を取り巻く社会経済的動向を把握し、地域医療の向上に貢献するとともに、地域の保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力できる。
- ・豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守り、社会の福祉に奉仕する医師としての職責を自覚し、地域並びに母校への帰属意識を有している。
- ・医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲と生涯にわたり自己研鑽を続ける態度を有し、同僚・後輩への教育に労を惜しまない。
- ・世界的に注目されている医学的情報を入手し、専門的な医学用語〔英語〕を理解できる

【概要ならびに履修方法】

講義をしっかりと聴き、それについて様式に沿って感想文を書く。自分自身のオリジナルな意見が望ましい。

【準備学修ならびにそれに要する時間】

予習は不要であるが、講義後に興味を持った内容について自主的に情報を収集し、医学医療への関心を高めてもらいたい。

【成績の評価方法・基準】

レポート・感想文・授業中の態度、出席などを総合評価する。真摯な態度で参加すること。感想文は採点し、成績評価する。態度不良、欠席、感想文手抜きの場合は不合格もあり得る。

新入生オリエンテーション、アドバイザーミーティングは必ず参加すること(講義時間数には含まない)。欠席の場合は減点ならびに不合格にする場合がある。

また、EQテストは必ず受験すること。未受験の場合は不合格にする場合がある。

【学生への助言】

医師になるためには人間的な成長が不可欠である。人間的な成長のためには、深く物事を考え、内省できることが必要である。近年ネットが発達し情報や知識を得ることは容易になっているが、逆に自分で考え試行錯誤することや、自己の内面と向きあう機会が減少していることが懸念される。医師としてだけでなく人間として先輩である方々の話を聞き、これまでの人生を振り返り、将来を考える機会として欲しい。また医療や社会、医学について深く考えてもらいたい。すなわち、調べる、教わる、覚えるのではなく、思考する・思索するという経験を積んで欲しい。すなわち「検索するな、思考せよ」というエールである。

一方、大学生活に慣れず戸惑いが生じる場合もあるであろう。オリエンテーション合宿やアドバイザーとのミーティングによって問題を解決して欲しい。

【フィードバック方針】

原則として成績についてのフィードバックは行わないが、態度不良、欠席が多い場合は注意する場合がある。

【オフィスアワー】

オムニバス形式のため特に設けていない。質問やさらに学びたい場合は各担当教員に個別でアポイントを取ること。

【受講のルール、注意事項、その他】

新入生オリエンテーションは、2022 年 4 月 15 日(金)の予定。アドバイザーミーティングの日は追って掲示する。

なお、健康診断、血液検査などは必ず受診すること。未受診の場合は健康スポーツ科学受講、課外活動参加はできない。自身の健康管理は当然であるが、他者への感染予防を含め、健康診断や予防接種は医学生として当然の責務である。未受診、未接種の場合は不合格にする場合がある。また心肺蘇生法実習も必ず参加すること。

【教科書】

なし(各教員に一任)

【参考書】

なし(各教員に一任)

【連絡先】

教育研究棟 3 階 医学教育センター